

9月定例会市議会
8月29日～9月22日

福祉・教育・暮らしまでも、のびします

9月定例会市議会は、8月29日から9月22日まで開催されます。日本共産党野洲市議会議員団は、暮らし優先の市政の実現へ、がんばります。みなさんのご意見・ご要望をお寄せください。



9月定例会市議会日程

8月29日(金) 本会議(議案提案)	9月12日(金) 環境経済常任委員会
9月4日(木) 本会議(議案質疑・一般質問)	16日(火) 環境経済常任委員会
5日(金) 本会議(一般質問)	17日(水) 文教福祉常任委員会
8日(月) 本会議(一般質問)	18日(木) 文教福祉常任委員会
10日(水) 総務常任委員会	22日(月) 本会議(議案討論・採決)
11日(木) 総務常任委員会	

開会は午前9時から(22日のみ午後1時から)

ご意見・ご要望をお寄せください

一般質問 予定している一般質問の内容です。

小菅六雄市議

市農業の再生と振興
野洲市農業の現状認識と振興策の推進を求めます。

野洲養護学校の諸問題
養護学校の教育条件整備と通学(通勤)の安全対策を求めます。

原油高に対する市施策の実施
原油高は市民生活のあらゆる分野を脅かしています。市としての対策を求めます。

野並享子市議

駅前周辺整備計画について
24億円の野洲駅前整備計画を見直し市民本位の推進を求めます。

区画整理事業について
市三宅地先の区画整理事業の現状と今後の課題について質問します。

保育行政について
政府が進める公的保育の放棄(規制緩和)の問題点と市保育行政の拡充を求めます。

「ふるさと納税制度」

自治体間の財源格差是正と言いますが…。 地方交付税削減こそやめるべき

「ふるさと納税制度」導入のための市税条例改正案が提案されています。これは、出身のふるさと(自治体)へ寄付を行えば税額控除されるものです。「地方間の財政格差是正」を目的にしていますが、そもそも地方財政を危機的事態に追いやった原因が、「三位一体改革」と称して、大幅な地方交付税削減などを行ってきたためです。

地方自治体の財政が、「ふるさと納税」といった不安定な寄付行為に頼らざるを得ないという制度は、本来の財政システムではありません。必要なことは、政府が地方交付税など財政調整機能を発揮し必要な配分を行うべきです。

暮らし犠牲 住民税の年金天引き、幼稚園保育料値上げ

来年10月から65歳以上の年金受給者から市民税を年金天引きする議案が提案されています。そもそも税は自主申告・自主納税が原則です。有無を言わず年金からの強制天引きは納税の原則に反します。

一方、幼稚園の保育料値上げ(7万3200円が7万5600円)の提案も。暮らしがこんなに大変な時、市民への負担強化は許されません。

今議会では、法人市民税率の引き上げが提案されています。現行14・5%を14・7%に。これにより約2000万円の増収です。日本共産党市議団は、大企業に対する適正な税率を求めてきました。なお、資本金1億円以下の税率は据え置きされます。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2008年8月31日 150

暮らしのご相談・要望
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話・FAX) 589-4971

(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/kosuga/

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102

(メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/nonami/